

図書館事業計画にかかる評価について

1. 目的

図書館の基本的運営方針の実現のため、活動目標ごとの評価について、自己評価と図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

2. 評価にかかる法的根拠

(1) 図書館法

第七条の三（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(2) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準

第2 公立図書館 一 市町村立図書館 1 管理運営

(2) 運営の状況に関する点検及び評価等

- ① 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(1)の②の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- ② 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第14条第1項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、当該図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- ③ 市町村立図書館は、前2項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- ④ 市町村立図書館は、第1項及び第2項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

3. 評価の実施

評価の実施にあたっては、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）を実行することで、図書館運営全般の評価とその結果に基づく運営の改善及び図書館サービスの向上を図っていきます。

(1) 活動指標の設定

「大津市図書館の基本的運営方針」の実現に向けて掲げた5つの活動目標に基づき指標を設定し、事業の達成度を測ります。

(2) 評価基準

設定した指標の達成状況等により、4段階で評価します。

- A 目標が達成され、十分な成果をあげた。
- B 目標がほぼ達成され、一定の成果をあげた。
- C 目標は達成されなかったが、一定の成果をあげた。
- D 目標が達成されず、十分な成果をあげることができなかった。

(3) 評価方法

設定した指標等をもとに、5つの活動目標についての達成状況を図書館内で自己評価をします。その内容を大津市図書館協議会で報告します。また、図書館協議会による外部評価を実施し、事業計画の推進を図ります。

(4) 令和4年度事業評価の結果について

【評価結果一覧】

評価項目	自己評価			外部評価
	本館	北館	和邇館	
活動目標1 市民の学びに応える図書館	B	B	B	B
活動目標2 だれもが利用できる図書館	A	B	A	A
活動目標3 魅力あふれるまちづくりを支える 図書館	A	A	A	A
活動目標4 子どもの育ちを支援する図書館	A	A	A	A
活動目標5 市民とともにつくる図書館	B	A	B	B

【活動目標ごとの評価シート】

別紙のとおり

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和4年度評価シート

活動目標 1	市民の学びに応える図書館
主な取組み	①幅広い資料の収集と保存 ②資料・情報提供の充実 ③レファレンスの充実 ④図書館職員の資質向上

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度取組状況				
<p>① ・幅広い資料の収集と保存に積極的に努めた。</p> <p>② ・利用者ニーズの適正な把握と要望に的確に応えるための蔵書構成と資料費の確保に努めた。 ・電子図書コンテンツについては、今年度も児童書のコンテンツの充実に努め、朝読書や調べ学習に活用できるコンテンツの選書を行った。 ・新鮮な図書の蔵書構成に努めるため、引き続き丁寧に除籍作業を実施し、除籍資料は、利用者及び市内施設(公民館・児童館・児童クラブ)並びにイベント(slow otsu)ヘリサイクル本として提供事業を開催した。 ・バリアフリー図書の収集 ・大活字本(83点)、朗読CD(40点)、洋書(38点)(主に一般向け洋書)、LLブック(6点)の充実を図った。 今年度は新規受入資料を利用者に広く知ってもらうため洋書の特別展示コーナーを開設した。</p> <p>③ ・参考資料室を中心とした郷土資料の充実に努めた。 『歴史と文学に彩られた四季折々の石山寺』特別講演会を実施したことを機会に、石山寺及び源氏物語関連の図書の収集を積極的に行った。 ・レファレンスツールの整備 法令の改正や参考資料の改訂に併せて購入を積極的に行った。</p> <p>④ ・外部研修への積極的な参加 (県立図書館、日本図書館協会図書館地区別研修(近畿地区)、滋賀県生涯学習課等参加受講。その他リモート・ZOOM研修にも積極的に受講) ・館内整理日を活用した職員全体研修の実施 (「安全運転講習」、「システム操作研修」、「接客研修」、「大津百町のイロハ〜まちを知って、まちを楽しむ〜」等実施)</p>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① ・図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、外国資料など豊富で幅広い資料収集を積極的に行うだけでなく、収集した資料を広く知ってもらう工夫と広報活動を充実させる必要がある。 ・図書館資料の収蔵力には限界があることから、除籍作業についても、引き続き慎重に作業を継続してゆく必要がある。</p> <p>② ・資料・情報提供の充実については、利用者の読書要求に応えるため、引き続き、カウンターでの貸出・返却業務や読書相談やレファレンス等業務について、適正かつ丁寧に対応していく。</p> <p>③ ・日常の疑問の解決や調査研究活動に対応できるよう、参考資料室を中心として、レファレンスツールの整備や資料の充実に引き続き努める。</p> <p>④ ・多様化する利用者のニーズに的確に応えられるよう職員の資質向上を図る必要がある。 ・変動する社会情勢に対応すべく、情報の真偽の判断力や氾濫する情報から適切な情報を掴む能力が求められており、職員の資質及び能力向上を図るため、引き続き研修に積極的に参加し館内で共有していく。</p>				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
貸出冊数	835,000	831,474	99.6%	835,000
蔵書冊数	522,000	521,924	100.0%	522,000

3 自己評価	達成状況	B
<p>幅広い資料の収集については、様々な選書ツールを活用して収集に努めた。また、利用者からのリクエストに応えるべく、購入や相互貸借に取り組んだ。資料の充実と新鮮な蔵書構成を保ちながら、閉架書庫の安全で迅速に資料を探る環境を維持するため適切な除籍作業を実施した。除籍資料の提供については、市民はもとより、公民館、児童館、児童クラブ等にも実施し好評であった。</p> <p>資料費の予算確保については、特にコロナ感染症地方創生臨時交付金を活用し電子図書コンテンツの積極的な予算執行に努めた。</p> <p>また、電子図書の利用拡大のために、月々の特集については図書館の展示本とリンクするよう工夫した。全体としては、図書、雑誌、郷土・行政資料、視聴覚資料、バリアフリー資料、外国資料など豊富で幅広い資料収集を積極的に行ったが、貸出冊数の目標値に達することができなかった。次年度に向けては、収集した資料を広く知ってもらう工夫と広報周知活動を充実し、1人でも多くの市民の学びに応えていくよう努めていきたい。</p>		

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
<p>① ・図書館の利用者に、新たに入手した資料や情報を分かりやすく揭示し、提供の充実に努めた。</p> <p>② ・「本のミニサイクルコーナー」を一年を通して行い、除籍後の資料を市民に譲渡した。</p> <p>③ ・図書館の利用者にわかりやすい位置にレファレンス用カウンターを設けて、市民の様々な活動を支援するための情報サービスの充実に取り組んだ。</p> <p>④ ・情報セキュリティ研修や令和4年度DX研修等を積極的に受講するとともに、自主事業の「季節のおはなし会」等で多くの職員が積極的に発表を行い、図書館職員の資質向上に努めた。</p>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のレファレンスに関する更なる知識の習得。 ・土・日勤務の偏重の勤務ローテーションのため、平日開催の研修会に参加が難しい。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内会議の中で研修時間を設け、職員の資質向上に努める。 ・県立図書館等で開催する研修会には、ローテーションを調整し、参加できるよう努める。 ・今後も引き続き、利用者のニーズに応じた図書館資料・情報の提供に努める。 				
2. 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
貸出冊数	372,000	348,649	93.7%	372,000
蔵書冊数	177,000	173,850	98.2%	177,000
3. 自己評価	達成状況	B		
<p>市民の読書要求に応えるため、幅広い資料の充実に努めるとともに、県立図書館や他都市の図書館との相互貸借を積極的に活用しながら、効率的かつ効果的な資料提供に努めることができた。</p> <p>また、多様化高度化する市民の調査・研究に対応するため、電話によるレファレンスの充実に努めることができた。</p>				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
① ・蔵書の見直し(今年度は閉架書庫の本を整理・除籍、レファレンスブックの整理) ・破損・汚損本の買いなおし				
② ・館内展示(成人・児童)や「図書館だより」「くらぼ」「夏休み読書案内」の発行、「時代小説文庫一覧」の更新、「英文多読資料リスト」の作成 ・「英文多読コーナー」の充実と使い方講座の実施 ・電子図書使い方講座の実施 ・「私のおすすめの1冊」展示(30周年事業・7月～10月)				
③ ・レファレンス記録集の作成(職員用)				
④ ・30周年事業に関する事業の企画運営 ・各担当業務に関連した研修の受講と、受講後の研修報告会				
(2) 課題と今後の展開				
① ・統計などを活用し、蔵書に偏りがないようバランスを図るとともに、新鮮な書棚を維持できるよう、社会情勢を反映した本の購入や内容の古くなった本の除籍などをすすめる。				
② ・館内展示や新刊案内、ブックリストなどの発行の継続のほか、新たな本のリストを作成する。				
③ ・レファレンスの記録をほかの利用者にも公表できるように、レファレンス記録用紙を作成する。				
④ ・30周年事業での企画のノウハウを生かして今後も新たな事業に取り組む。 ・各種図書館サービスやテーマに応じた研修の受講による職員の資質向上を図り業務に活かす。 ・研修で学んだことを共有し、実務に生かせるよう、報告会を行う。				
2. 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
貸出冊数	311,000	287,731	92.5%	311,000
蔵書冊数	200,000	198,590	99.3%	201,000
3 自己評価		達成状況	B	
<p>令和4年度は和邇図書館開館30周年を記念した事業を、職員一人一人が企画・運営し職員一丸となって多くの事業を成功させることができた。それぞれ担当を持つ中での作業となったが、運営のノウハウなど、各職員の能力の向上にもつながった。</p> <p>また、バリアフリー研修会や棚の見せ方の研修会の受講内容をみんなで共有し、より市民に利用しやすい図書館となるような今後の目標を設定することができた。</p> <p>蔵書の見直しについては、蔵書点検期間に閉架書庫の本を整理・除籍し破損・汚損本については買いなおしたが、発注等が遅れてしまった。</p>				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	B
<p>・資料の収集については、リクエストをはじめ市民の読書要求に応えるとともに、新鮮な蔵書構成を保つための見直しや選書ツールを活用するなど、蔵書冊数の確保に努めていることは一定の成果が見られている。また、新鮮な図書の蔵書構成に努めるための除籍作業を実施し、資料の再活用として、利用者や公共施設等へリサイクル本として提供し好評を得ている。</p> <p>・昨今の多様化する利用者のニーズに対応するため、引き続き職員の資質向上に努められたい。</p> <p>・令和4年度については、各館とも貸出冊数の目標値に達していないことから、市民のニーズに沿う取り組みや広報活動の充実を通して市民の学びに応えられるよう努められたい。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和4年度評価シート

活動目標 2	だれもが利用できる図書館
主な取組み	①図書館への来館が困難な人へのサービスの展開 ②障害者サービスへの展開 ③高齢者へのサービスの展開

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
① ・移動図書館の定期巡回 学校等へのスポット巡回、出前講座を活用したスポット巡回の開催 ・JR石山駅前ひろばにブックポストを設置 ・電子図書及びオーディオブックの普及啓発と電子図書の特集ページの充実 ・電子図書コンテンツの充実(令和4年度購入1,326コンテンツ) ・利用者登録の電子申請実施 ・マルチメディアデジター図書の館内利用開始 ・電子図書館体験コーナーの実施				
② ・バリアフリー図書(大活字本と朗読CD)の収集 大活字本 83冊 朗読CD40点				
③ ・朗読ボランティアによる「おとなのための朗読会」の実施 ・高齢者事業(連続講座の実施 年間7回実施延べ163人参加)				
(2) 課題と今後の展開				
① ・移動図書館の利用促進 ・出前講座を活用した移動図書館さざなみ号特別巡回の実施と発信 ・図書館の利用促進につながる環境の整備				
② ・電子図書及びオーディオブックの利用促進 ・バリアフリー資料等整備及び利用につながる情報発信				
③ ・図書館での高齢者向け行事については今年度ワークショップと講演会を実施し好評であったため次年度以降も事業を継続する。図書館職員以外の外部講師による多彩なメニューを展開したことで、図書館への来館契機を作りさらなる利用につながるため継続していく。 ・様々な図書館資料に触れることで、読書の楽しみにつながる事業の展開を行う。				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
来館者数	230,000	237,577	103.3%	230,000
図書館利用促進につながる事業回数	270	510	188.9%	270
3 自己評価		達成状況	A	
<p>移動図書館サービスについては、図書館から離れた地域に暮らす高齢者や子ども連れの方などを中心に幅広く利用されており、巡回場所における利用状況を見ながら資料を選定し新鮮な状態を保つよう努めた。</p> <p>電子図書の運用については、非来館型図書館サービスとして、いつでもどこでも読書ができる環境を整備できた。</p> <p>今年度は特に小中学生向けコンテンツの充実を行い、朝読書や調べ学習に活用できる環境整備に努めた。</p> <p>大活字本等のバリアフリー図書を収集し、マルチメディアデジター再生タブレットを備えるなど環境の整備を図った。</p> <p>活字の読書が困難になり、図書館に対する関心が低くならないよう、高齢者事業として、講座や映画上映など図書館へ来る動機付けを図る様々な事業展開を行った。</p>				

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開					
(1) 令和4年度の取組状況					
① ・学校での「電子図書館の使い方」かんたん講座の実施 ② ・大活字本や、関連資料の定期的な購入 大活字本の定期的な購入(年2回/計29冊)及び介護や高齢者向け施設で需要の高い分野の積極的に資料を購入(紙芝居、介助・食事関連、レクリエーション・運動等)した。 ③ ・高齢者向けのお話会の開催 北図書館職員が北老人福祉センターへ出向き、高齢者向けの紙芝居によるおはなし会を開催し、趣味や生きがいに役立つ高齢者へのサービスに取り組むことができた。(新規)					
(2) 課題と今後の展開					
【課題】 ・高齢者向けサービスの充実。 ・高齢者向けサービス資料の収納スペース不足。 ・高齢者向け講座会場の設定。 【今後の展開】 ・今まで乳幼児を対象として開催していたおはなし会だけでなく、今後も高齢者向けのお話会を開催していく。 ・高齢者向け資料の開架・閉架の書架共に収納場所の確保に努める。					
2 指標					
	指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
	来館者数	180,000	172,664	95.9%	180,000
	図書館利用促進につながる事業回数	100	133	133.0%	100
3 自己評価		達成状況		B	
新規の取り組みとして、図書館員が高齢者施設に出向き、高齢者向けのおはなし会を開催したことにより、高齢者への新たなサービスの展開を図ることができた。 また、高齢者向けの紙芝居を購入することで、高齢者施設等における利用が高まり、好評を得て、だれもが図書館を利用できるサービスを展開した。今後は、大活字本等の周知など、図書館への来館の契機となるサービスの展開を検討していきたい。					

III. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
① ・移動図書館の運行 ・電子図書の利用促進 ・学校・園、児童クラブなどへの団体貸出 ② ・大活字本、朗読CD、点字図書、LLブック などバリアフリー資料の収集 ・「テープ版図書館だより」の作成(12回) ・バリアフリー映画会の開催 ・対面朗読の実施 ③ ・映画会「名画の窓」の開催 ・高齢者施設への団体貸出、移動図書館の運行 ・高齢者サービス案内のしおりの作成				
(2) 課題と今後の展開				
① ・引き続き移動図書館での貸し出しを行うとともに、更新したミッケル号のPRを行う。 ② ・さまざまな分野の大活字本など、バリアフリー資料をさらに収集していく。 ・マルチメディアデイジーの活用を検討する。 ・「バリアフリーDVD」の購入・定期的な上映会の開催 ・「LLブック」の利用案内 ③ ・高齢者を対象とした事業を開催し、大活字本や朗読CDなどのサービスをPRする。 ・高齢者施設との連携を図り、図書館の利用を促進する。				

2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
来館者数	90,000	90,884	101.0%	90,000
図書館利用促進につながる事業回数	130	178	136.9%	130
3 自己評価		達成状況	A	
<p>開館30周年記念事業の中で「ミッケル号で本をかりてみよう」やバリアフリー映画会を行い、ミッケル号やバリアフリー資料のPRを行うことができた。令和5年度はミッケル号の車体リニューアルもあるので、引き続き、ミッケル号の利用促進に努めたい。</p> <p>バリアフリー映画会についても、障害福祉課の協力を得て多くの方に来ていただけた。今後は定期的に行いたい。</p> <p>さまざまな事業を行ったことで来館者や事業回数の増加につながったが、貸出冊数の増加につなげることは難しかった。例年に引き続き、ミッケル号を活用しての学校・園、児童クラブ、高齢者施設への団体貸出のほかバリアフリー資料など様々な資料の充実や展示の工夫により、より多くの方が読書に親しみ、課題解決のできるようなサービスを行っていきたい。</p>				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<p>・移動図書館車の更新、バリアフリー図書等の収集、さらには電子図書の利用促進によって、利用者をはじめ非来館者向けのサービスが充実している点は評価できる。新型コロナウイルス感染症の状況も落ち着いてきており、現在実施のサービスを更に充実させることで、今後、来館者数の増加が期待できる。</p> <p>・高齢者向けの講座、おはなし会の開催、高齢者施設への出向等のサービスが好評であったことから、引き続き積極的に事業を展開し、多くの市民にご利用いただけるよう、更なる周知を図りたい。</p> <p>・図書館が市民の身近な生涯学習の拠点施設として、すべての市民の学びを支え、気軽に利用しやすい図書館を目指されたい。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和4年度評価シート

活動目標 3	魅力あふれるまちづくりを支える図書館
主な取組み	①郷土資料及び行政資料の収集・整備 ②行政・公共機関等との連携 ③地域資料を活用した運営

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
① 郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用や資料展示を行った。				
② 市関係所管課及び公共機関との連携事業として、施策推進にかかる資料とともに関連図書の展示や講演会、図書資料の団体貸出等を積極的に実施した。年間14回				
③ 学びの継続や発展につなげるために、市関連事業(2024年大河ドラマ「光る君へ」に係る石山寺プロモーション事業等)に関連した図書等の資料収集及び展示業務を行った。				
(2) 課題と今後の展開				
① 郷土資料及び行政資料の積極的な収集・整備・保存				
② 社会的課題の解決支援のため、庁内所管課と連携して市民に情報提供していくことが必要 ・庁内各所管課との連携により、施策の推進を側面的に支援する役割を發揮していく。				
③ 貴重な郷土資料の作成や収集が、図書館への資料収集に結びつくように、地域や大津市役所庁内に向けて発信(周知)する必要がある。				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	7	14	200.0%	12
3 自己評価		達成状況	A	
市関係所管課及び公共機関との連携によりテーマ展示を積極的に行った。テーマ設定に基づき積極的に資料収集を実施した結果、関連図書の貸し出しが増え、地域情報や行政資料に関する情報発信につながった。 郷土資料や行政資料、博物館の展覧会の図録等についても積極的に収集し、学びの継続や発展につなげていくような蔵書の充実を図った。				

II. 北図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
① 地域資料の受入れ。 独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所から「琵琶湖の刻(とき)」の寄贈を受け入れた。				
② 大津市障害福祉課及び堅田すこやか相談所等との連携事業の充実。 下阪本公民館の主催事業で、ブックリストを作成し、高学年向けの物語と知識の本の貸出を行い、事業への協力を努めた。(新規) 今年度も、障害福祉課と連携し、発達障害の関連本を展示し、また、堅田すこやか相談所と連携を図り、健康づくり啓発の関連本を展示した。				
③ ほくぶん子どもまつりの開催。 北部地域とのつながりを意識しながら企画運営を図り、北部地域文化センター内の全4所属で共催した。				

(2) 課題と今後の展開				
【課題】 地域資料を発掘する必要がある。				
【今後の展開】 地域での活動者の支援を通じて、必要な資料の収集に努める。				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	3	4	133.3%	3
3 自己評価		達成状況	A	
健康展示や世界自閉症啓発デーに係わる行政資料などの情報を集約し提供することで、魅力あるまちづくりの支援に努めてきた。 また、北部地域文化センター、堅田少年センター、堅田児童館及び北図書館が地域とのつながりを意識しながら「ほくぶん子どもまつり」を開催することができた。				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
① ・郷土・行政資料の収集・整備 ・郷土・行政コーナーの整備				
② ・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携(チラシ・資料の展示) ・県の施策推進との連携(30周年事業「木育おもちゃで遊ぼう」)				
③ ・黒川琉伊くん「おさかな教室」や地元の漁師駒井健也氏による講演会、展覧会など地域の魅力を伝える講演会の実施(30周年事業)				
(2) 課題と今後の展開				
① ・市の施策等について、資料をプリントアウトし、資料として受け入れする。 ・郷土行政コーナーを整理し、展示コーナーを設置して利用を促進する。				
② ・社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。 ・地域の市民センター、コミュニティセンターなどと連携し、地域資料を収集する。				
③ ・地域の自然や歴史、文化、特産物など、講演会や展示など様々な方法で伝える。				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
市関係所管課及び公共機関との連携 展示回数	5	6	120.0%	5
3 自己評価		達成状況	A	
開館30周年記念として「黒川琉伊くんおさかな教室」「『はじめてのびわこの魚』原画展」「びわこの漁師駒井健也さん講演会」「切り絵作家横山夢さんによる切り絵講座」「雅楽コンサート」など地元の著名な方のご協力を得て事業を行い、来館者に地域の良さを再確認してもらえた。また、市や県の施策推進のための展示を行うことで、その分野にあまり関心のなかった方へもPRできた。今後も郷土行政関係の資料の収集やさまざまな展示を行っていきたい。				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<p>・市関係所管課及び公共機関と連携した展示については、達成率が高く、図書資料だけでなく様々な情報と関連付けて市民に提供できたと評価できる。</p> <p>・行政資料や地域資料を有効活用した取り組みが進んでいることから、引き続き資料収集や連携展示等の企画を積極的に行い、魅力あるまちづくりの支援に努めていこう、引き続きの事業展開に努められたい。</p>		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和4年度評価シート

活動目標 4	子どもの育ちを支援する図書館
主な取組み	①成長段階に応じた読書環境の整備・充実 ②学校・園や地域との連携 ③子ども読書活動の推進と普及・啓発

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の実績状況				
①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】				
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向け・幼児～向けにおはなし会などを実施 ・小学校中学年向けブックリスト作成配布 ・児童書新刊案内発行・HP掲載 ・夏休み読書案内(幼児～小学校高学年)作成配布 ・子育て総合支援センターへのセット貸出と出前利用案内・おはなし会の実施 				
②【学校・園や地域との連携】				
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園への絵本セット貸出・配本実施 ・小学校への定期配本・調べ学習用図書貸出配本 ・小学校1年生対象図書館利用説明出前 ・小学3年生対象図書館案内出前 ・学校・園・小中学校初任者研修などでのおはなし会や出前講座実施 ・小学校3年生対象図書館見学代替資料作成・配布 ・移動図書館小学校スポット巡回の実施 ・中学校1年生ブックリスト配布 ・中学生対象図書館利用案内配布 ・中学校へのセット貸出・配本 3校 ・学校図書館リニューアル支援 5校8回 ・児童館へのセット貸出の実施 6館 ・学校における1人1台タブレットを活用した電子図書の利用推進 				
③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】				
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座(園・公民館・児童館での絵本講座等の実施) ・季節に合わせた催しの実施、季節ごとのテーマ展示 ・としょかん絵本講座の実施 				
(2) 課題と今後の展開				
①・子どもの読書環境の整備				
<ul style="list-style-type: none"> ・本と親しむ契機となるおはなし会の充実 				
②・子ども読書活動推進のため、学校・園と連携した読書環境整備の支援が必要				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが地域で気軽に本に触れることができるよう子育て関連施設等への支援が必要 ・中学生の読書離れや図書館利用の減少への施策が必要 				
③・児童サービス関連講座の継続的な実施				
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く大人に向けた読書活動の推進と普及・啓発 				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
児童図書貸出冊数	290,000	305,553	105.4%	290,000
学校・園への団体貸出冊数	20,000	26,402	132.0%	20,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	270	309	114.4%	270
3 自己評価		達成状況	A	
<p>年齢に応じたブックリストの作成を進め、館内や学校等で活用し、本に親しむきっかけを作ることができた。</p> <p>令和4年度より、児童館・子育て総合支援センターへのセット貸出、子育て総合支援センターでの出前利用案内とおはなし会をスタートさせ、地域の読書環境整備への支援を拡充することができた。また、定期巡回を行っていない小学校から希望を募り移動図書館のスポット巡回を実施し、利用促進を図った。</p>				

II. 北図書館

1 主な取り組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
<p>① 【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堅田児童館の主催事業「赤ちゃん広場」で絵本についてはおはなしや読み聞かせの実演を3回実施した。(継続) ・各おはなし会の開催 たーたかのおはなし会(月2回)、コロボックルのおはなし会(年6回)、季節のおはなし会(年4回)、夏と春に大きなおはなし会 ・夏休みスタンプラリー。 期間中に3回の貸出しで、職員が作った景品のプレゼントを実施。 ・児童書の買換・複本購入。 長く読みつがれてきた本を中心に、積極的な買替・複本購入を実施。 <p>② 【学校・園や地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員が仰木の里東小学校へ出向き、2年生に「出前図書館案内」を実施した。(継続) ・一日図書館員(小学3年生)事業。→ 8月の2日間で午前午後各1人【中止】 ・図書館見学(小学3年生)の受入れ。→ 近隣校5校【中止】 ・職場体験学習(中学2年生)の受入れ。→ 体験時間を半日に短縮して実施1校(仰木中) ・小学校などと連携した定期配本や学習支援用の依頼図書の貸出。 ・堅田小・真野小・雄琴小・仰木小・伊香立小・葛川小(継続)と葛川中(新規)と連携し、定期配本や学習支援用の依頼図書の貸出を行い、子どもの読書活動を推進。 <p>③ 【子ども読書活動の推進と普及・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みブックリストの作成。 児童向けの夏休みおすすめ本を作成し、図書館利用者に配布 				
(2) 課題と今後の展開				
<p>【課題】 図書館見学や職場体験学習等の受入れ人数に限りがある。</p> <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日図書館員事業を今後も行う。 ・近隣校から図書館見学の要望があれば、日程調整を図り、積極的に受入れを行う。 ・近隣校から職場体験学習の要望があれば、日程調整を図り、積極的に受入れを行う。 ・本に興味をもってもらうため、夏休みブックリストを作成していく。 ・夏休みスタンプラリーを開催することで、図書館への来館者数を増やしていく。 ・配本人員を確保し、定期配本や図書貸出を行う。 				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
児童図書貸出冊数	150,000	145,379	96.9%	150,000
学校・園への団体貸出冊数	8,000	9,414	117.7%	8,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	40	47	117.5%	40
3 自己評価	達成状況		A	
<p>ボランティア団体「たーたか」や「コロボックル」のおはなし会及び北図書館職員による季節のおはなし会等を開催することで、子どもたちが読書の楽しさに気づき、生涯を通じて本がそばにある暮らしを提供することができた。</p> <p>また、近隣の小学校などと連携を図り、定期配本や学習支援用の依頼図書の貸出を通して、子どもたちの成長を支援する活動が展開できた。</p>				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取り組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
①【成長段階に応じた読書環境の整備・充実】				
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児・児童向け定例おはなし会の開催 ・乳幼児健診でのおはなし会のチラシ配布 ・児童書新刊案内「くらぼ」、「夏休み読書案内」の作成・配布 				
②【学校・園や地域との連携】				
<ul style="list-style-type: none"> ・劣化した児童書の買いなおしと複本の購入 ・学校・園、児童クラブ等への団体貸出 ・小学校への出前講座(和邇小学校での図書館使い方講座・読み聞かせ講座) ・調べ学習支援図書・並行読書用の図書の購入 ・近隣の学校・園の子どもたちから図書館へのお祝いメッセージ掲示(30周年記念事業) ・近隣の学校・園への移動図書館の巡回(再掲) 				
③【子ども読書活動の推進と普及・啓発】				
<ul style="list-style-type: none"> ・お正月「本のふくぶくろ」(子ども向け)の開催(20袋40冊配布) ・子ども読書週間事業「どうぶつの本でビンゴ」 ・読書週間事業「読書ノート」(子ども用)配布 ・絵本「はじめてのびわこの魚」を出版した黒川琉伊くんの「おさかな教室」(再掲) 				
(2) 課題と今後の展開				
①				
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会のあと、ゆっくり絵本を選んでもらえるよう、会場でおすすめ絵本の展示を行う。 ・実験を交えた科学絵本の読み聞かせや、異文化体験を交えた外国の絵本の読み聞かせなど、テーマを決めたおはなし会をし、子どもたちが様々な本に出会うきっかけを作る。 ・読書の機会が少なくなる高学年や中学生向けの事業を行い、読書のきっかけを作る。 				
②				
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策のためしばらく実施できていなかった、小学校の施設見学や職業体験について学校とも相談しながらすすめていく。 ・子どもたちが本に触れられるよう、移動図書館を活用し、より多くの施設へ本を届けられるようにする。 				
③				
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動推進のための講演会や講座を行い、子どもの読書についての理解を深める。 ・子ども読書週間など読書関連の事業を行い、子どもの読書についての啓発を行う。 				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
児童図書貸出冊数	81,000	89,175	110.1%	95,000
学校・園への団体貸出冊数	13,000	12,971	99.8%	14,000
児童サービス事業(おはなし会等)の回数	40	39	97.5%	40
3 自己評価	達成状況	A		
<p>子どもたちが本や読書、図書館に親しめるよう、定例のおはなし会のほか、子ども読書週間など季節ごとにいろいろな事業を行った。貸出冊数も目標を達成し、また、何度もおはなし会に来られる方もあり、満足してもらっている。これからもさらに多くの方に事業を知ってもらえるようPRも工夫していきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で控えていた事業も少しずつではあるが再開しているので、令和5年度はいろいろな年代を対象にしたおはなし会や子ども読書活動推進のための講演会などを積極的に行っていきたい。また、団体貸出についても未利用の団体にも声をかけ、サービスを広げていきたい。</p>				

図書館協議会の意見(総評)	達成状況	A
<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書貸出冊数については、目標値を上げたことにより達成できなかった館もあるが、全体としては目標値を上回っている。 ・学校園への団体貸出冊数及び児童サービス事業については、関係機関との連携を図る中で、学校園数も多い中、積極的に事業展開できたこと、また、次代を担う子どもの成長を支援するため、本と人をつなぎ、本を通して様々な取り組みを実施されたことは大いに評価できるところである。その成果が、児童書の貸出冊数の増加に現れている。 ・今後も子どもの育ちを支援する図書館として、読書習慣の形成にとって大切な時期である乳幼児期において本に親しむ事業も多く実施されていることから、読み聞かせ等より一層の普及啓発に努められたい。 		

「大津市図書館の基本的運営方針」に基づく事業計画 令和4年度評価シート

活動目標 5	市民とともにつくる図書館
主な取組み	①課題発見と解決への支援 ②ボランティア活動の推進 ③市民協働の推進

I. 図書館(本館)

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度 of 取組状況				
① ・1F・2Fフロアでのテーマ展示実施 一般向け 49回 児童向け 12回 ・『今村翔吾文庫』の設置 第166回直木賞作家で大津市出身の歴史小説作家である今村翔吾氏の著作を収集し常設展示				
② ・今年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため活動を停止				
③ ・「大津おはなしのとびら」によるおはなし会の実施(夏・冬休みに実施済、春休みに実施予定) 朗読ボランティア「サークルDo」による「おとなのための朗読会」の実施(再掲)				
(2) 課題と今後の展開				
① ・滋賀県及び大津市に関する資料とテーマ展示をさらに充実し、効果的な発信を行う必要がある。 ・地域や市役所各所管課と連携し、課題解決支援につながる取組みを推進する。				
② ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で、館内のボランティア活動の方向性を再整備する必要がある。				
③ ある。				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
図書館事業の協働事業者数	10	2	20.0%	5
3 自己評価		達成状況	B	
<p>課題発見と解決支援につながる取組については、さまざまな分野からテーマを決めて展示することで、幅広く本を紹介することができ利用の拡大につなげることができた。また、大津市在住の作家・今村翔吾氏の展示コーナーを常設するなど、滋賀県に関連する資料や著者の資料を積極的に購入し充実を図った。</p> <p>ボランティア活動の推進については、今年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響で、書架整理及び本の修理ボランティア登録者の活動を休止していた。</p> <p>市民協働の推進については、コロナ禍ではあったが、大津おはなしのとびらや、朗読ボランティアサークルDoと協働で事業を実施することができた。今後は利用団体に積極的に参画してもらえるよう事業の継続・拡大を図りたい。</p>				

II. 北図書館

1. 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度 of 取組状況				
① ・障害福祉課や堅田すこやか相談所と連携し、発達障害や健康づくり啓発の関連本を展示した。				
② ・ボランティア団体(たーたか、コロボックル)による定期的なおはなし会の開催やボランティア活動による本の修理・配架等を行い、館内サービスの充実に取組んだ。				
③ ・7名のボランティア登録者が書架の整理や映画会の受付・除菌作業など活動に努めたことにより、利用者の満足度が向上し、また、寄贈本の装備や備品等の修繕に取り組んでもらい、作業効率や施設の安全・安心に努めた。 ・公民館などで活動されているサークルからの依頼を受けて、北図書館司書職員がこどもへの読み聞かせの大切さやおすすめ絵本の紹介を行った。(新規)				

(2) 課題と今後の展開				
<p>【課題】 ボランティア参加者の増加と活動領域の拡大。</p> <p>【今後の展開】 ・ボランティアの活動内容を広く紹介することにより、新規参加者を集めていく。 ・ボランティアと共に新たな活動領域を検討していく。</p>				
2. 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
図書館事業の協働事業者数	15	19	126.7%	20
3. 自己評価		達成状況	A	
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、ボランティア団体(たーたか、コロボックル)によるおはなし会を開催することにより、「本」と「人」をつなげる活動を広げることができた。 また、本の修理や書架の整理及び映画会の受付や除菌作業などを通じて市民協働による図書館づくりを進めることができた。</p>				

Ⅲ. 和邇図書館

1 主な取組みの成果・課題と今後の展開				
(1) 令和4年度の取組状況				
<p>① ・課題発見と解決支援につながるテーマ本の展示(7～10月については30周年記念事業「私のおすすめの1冊」展示) ・市の施策推進にかかる庁内所管課との連携(再掲)</p> <p>② ・サークル協議会、サークルまつり打ち合わせへの参加</p> <p>③ ・サークルまつりでのリサイクル市「ヨミガエル」への協力 ・30周年事業におけるボランティア団体、市民との協働事業(学校園の子どもからお祝いメッセージ、今村翔吾氏講演会など)</p>				
(2) 課題と今後の展開				
<p>① ・今後も利用者の課題発見と解決支援につながるような様々なテーマの本を紹介していく。 ・レファレンス記録をまとめ、公開することで解決支援につなげる。 ・積極的なフロアワーク・カウンターワークから利用者の課題解決支援に取り組んでいく。 ・社会的な課題の解決への支援のため、積極的に庁内所管課と連携した展示を行う。(再掲)</p> <p>② ・活動推進にかかる情報提供・情報共有 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、少しずつでも配架などのボランティア活動を再開する。</p> <p>③ ・おはなし会や館内行事等読書ボランティア団体との協働事業の推進</p>				
2 指標				
指標名	令和4年度目標	令和4年度実績	達成率	令和5年度目標
図書館事業の協働事業者数	6	3	50.0%	6
3. 自己評価		達成状況	B	
<p>令和4年度は和邇図書館30周年記念の期間中、利用者とともにつくる展示「私のおすすめの1冊」を行っていたので、展示の回数は少なくなったが、子どもから大人まで多くの方に参加してもらえた。また、サークル協議会と協働で30周年記念事業を行い、ともに和邇図書館30周年を盛り上げることができた。今後も市民との協働を推進するために、図書館事業におけるボランティア人数の増加を目指したい。</p>				

図書館協議会の意見(総括)	達成状況	B
<p>・課題発見と解決支援につながる展示については、様々な分野からテーマを決めての取り組みが見られ評価できる。</p> <p>・指標である図書館事業の協働事業者数を見ると達成できている館と出来ていない館がある。ボランティア活動は、各館の利用状況による密集状況など、感染対策を講じる中において、活動できる環境が異なることから、一律に活動を再開することは難しい状況であった。しかしながら、コロナ禍でも自館の良さを生かしながら、活動を継続していた館もあることから、全館で工夫した取り組みが展開出来たのではないかと思われる。今後の活動においては、引き続き信頼関係を密にしながら事業展開に努め、市民とともにつくる図書館を目指して努力されたい。</p>		